

株主メモ	
【 事 業 年 度 】	【 郵便物の送付先または連絡先 】
毎年11月1日から翌年10月31日まで	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031
【 定時株主総会 】	※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。 ※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。
毎年1月	【 株式に関するお手のホームページURL 】
【 基 準 日 】	http://www.smtb.jp/personal/agency/
毎年10月31日	【 公告 方 法 】
【 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 】	電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
【 株主名簿管理人事務取扱場所 】	
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	

IRページのご案内	
当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(http://www.his.co.jp)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。	
株主様ご優待のお知らせ	
毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボスご入場割引券は来年(平成27年)の7月31日までご利用になれます。	
【 株主優待券 】	【 ハウステンボスご入場割引券 】
当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。	ハウステンボス株式会社が運営いたしますハウステンボス(長崎県佐世保市)のご入場割引券を、お送りいたします。
	
100株以上 …… 2枚 500株以上 …… 4枚 1,000株以上 …… 6枚	100株以上 …… 1枚 100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。
ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。	ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。



株主・投資家の皆様へ

H.I.S. Interim Business Report

第34期(平成25年11月1日から平成26年4月30日まで)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様にH.I.S.Interim Business Report（平成25年11月1日から平成26年4月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、4月は消費税率引上げに伴い弱い動きがみられたものの、全体として緩やかな回復基調となりました。

旅行業界における海外旅行の動向は、アジアを中心とした外交問題、情勢不安や円安基調などの影響が依然として残りましたが、個人消費の持ち直しや、平成26年3月30日からの羽田空港国際線発着枠増加などがプラス要因となり、堅調に推移しました。当第2四半期連結累計期間の日本人出国者数（日本政府観光局推計値）は、約832万人（前期比2.8%減）となる見込みです。国内旅行の動向は、LCCの浸透や路線拡充による利便性の向上、主要観光地である沖縄・

北海道旅行需要の高まりなどを背景に順調に推移しました。

訪日外国人旅行の動向につきましては、タイなど好調に推移しました。同期間の訪日外国人数（同推計値）は、約581万人（同28.7%増）の見込みです。

このような経営環境の中で、当社グループでは「安心」と「安全」、「サービス」と「品質」の向上に努めつつ、日本国内及び海外での事業を拡大していくために、オリジナリティ溢れる各種の施策を展開しました。主な取り組みにつきましては、本書3ページ以降Topicsとして記載させていただいているとおりでございます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,526億34百万円（前年同期比112.5%）、営業利益83億81百万円（同138.4%）、経常利益96億41百万円（同122.9%）となり、売上高・経常利益は4期連続、営業利益は3期連続で過去最高を更新いたしました。また、四半期純利益

におきましては、ハウステンボス株式会社の繰越欠損金が解消することにより税金費用が増加し、43億60百万円（同93.1%）となりました。

世界経済を取り巻く環境は引き続き不透明であると思われませんが、旅行業界においては、緩やかながらも好転している景況感の下、個人消費の持ち直しや活発なシニア世代の動きに加え、首都圏空港の発着枠増加など、今夏以降の旅行需要は堅調に推移すると予想されます。このような環境の中、当社グループは主力セグメントであります旅行事業において、安全と安心、サービスと品質の向上に努めてまいります。当社グループにおける相乗効果の発揮を見据え、垂直統合ビジネスの推進や、国際チャーター航空会社をはじめとしたチャーター便の積極活用など、お客様のニーズに敏感に対応し、世界市場において独自性ある商品とサービスを創出し、日本発、海外発の旅行事業を拡大、発展させて

まいります。また、各販売チャネルの特性を意識した営業展開や媒体特性を意識した需要喚起のためのプロモーションなど、生産性や効率性をより意識した展開も進め、業績の更なる向上を図ってまいります。

ハウステンボス株式会社では、日本最多の約800品種を揃える「あじさい祭」の開催や夏季には「水の王国」そして「夏の光の王国」など、ご好評いただいているイベントをよりスケールアップして実施してまいります。また、新たに「ゲームの王国」を開催するなど、お客様にご満足いただくとともに感動いただける取り組みを行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長

平林 朗



新たな旅行商品やサービスの展開



新たな施策として、現地での人的サポートで自由旅行時の安心を提供する「旅先コンシェルジュ」や「レストラン代行予約」サービスを開始いたしました。独自の旅行商品としては、ご好評いただいている貸切鑑賞プランの第三弾として「バチカン美術館・システィーナ礼拝堂(バチカン市国)」を追加し拡充いたしました。また、羽田空港国際線発着枠増加に伴う新コースの造成や各地区発着チャーター便の積極活用など、各種、需要喚起に取り組みました。

営業拠点の拡充



イオンタウン長野三輪(長野)など全国的にショッピングセンターを中心に新たな営業拠点を設けました。また、笹塚(東京)など首都圏未進出エリアへの出店に加え、繁忙期の需要に応じた機動的な期間出店も実施するなど、生産効率を重視した店舗網の拡充を行い、国内店舗数は291店舗(平成26年4月末時点)となりました。

インターネットにおける旅行販売



「航空券+ホテル」サイトにおいて、オプションツアーや送迎手配をパソコン・スマートフォンともに同時予約が可能になるよう改修いたしました。また、LINEなどSNSを活用した商品配信の強化も実施し、更なる利便性向上を図りました。国内宿泊予約サイト「スマ宿」においては、引き続き契約施設数や利用者数の増加に努めてまいりました。

法人団体旅行事業



団体旅行につきましては、大型団体旅行(企業の報奨旅行・各種イベント・修学旅行)の受注が一層増加したほか、ソチオリンピック応援ツアーの取り組みなども奏功し、好調に推移いたしました。ホノルル駅伝など独自のイベントも行い、シェアの拡大に努めました。

法人旅行(企業出張)においては、包括契約を推進するなど取引先企業の出張需要が回復基調となり、堅調に推移いたしました。

日本国内旅行事業



高い成長率を継続しております国内旅行事業につきましては、石垣島ナイトサファリなど沖縄離島の特別企画の実施やLCCを利用したコースの拡充を行いました。また、人気のバスツアーは千葉や埼玉など新たな発着地を増設し拡販を図り、引き続き好調に推移いたしました。ハウステンボス商品の販売においても、グループ力を発揮してH.I.S.ならではの企画とサービスを展開いたしました。

訪日外国人旅行事業



2013年の訪日旅客数が1,000万人を超えた訪日市場は、急成長しているタイをはじめとし、東南アジアを中心とした査証条件緩和国からの受客に注力したほか、各国の企業インセンティブ旅行の受け入れを行いました。海外拠点との連携も強化して事業拡大に努めてまいりました。また訪日外国人用のオンラインサービスを拡充するなど受入体制の強化を行いました。

海外における旅行事業



現地発の旅行手配業務の強化として東南アジアを中心とした多店舗展開の促進により、海外の営業拠点網は、56カ国117都市169拠点(平成26年4月末時点)と拡大いたしました。トラベルワンダーランド(大型店)のオープンや、現地のお客様向けプロモーション活動を一層強化し、認知度向上も図っております。

日本及び各国のお客様受入業務につきましては、独自の商品として、当社海外駐在員が自ら観光地やホテルなどへ足を運んで企画した「産地直送商品」を拡充いたしました。また、当社グループの海外拠点が有するサービスや設備を、他の旅行会社にもご利用いただけるよう、ホールセール営業活動である「BtoB」事業の強化を行い、順調に推移しております。さらに、海外拠点間の送受客として、ロシアの支店がグアム行きチャーター便の現地滞在プランを販売し、グアム支店が受客する事業展開も順調な集客状況となっております。

ハウステンボスの更なる飛躍



テーマパーク事業を運営するハウステンボス株式会社は、オンリーワン・ナンバーワンの価値を持ったイベントに注力いたしました。大人気シリーズの「光の王国」においては「光のキューブ」が誕生、国内最多の650品種を取り揃えた「チューリップ祭」など各イベントをスケールアップして開催しました。また、参加体験型で楽しめる「仮面舞踏会カーニバル2014」の実施や、新たな取り組みとして本格的なエンターテインメントが楽しめる「MUSE HALL」、アドベンチャーパークにお子様に楽しんでいただける「ふわふわランド」を新設いたしました。そのほか、初の場外展開イベントとして、「大阪城3Dマッピングスーパーイルミネーション」を実施し、多くのお客様で賑わいました。その結果、当第2四半期連結累計期間の入場者数は150万1千人(前年同期比116.2%)、売上高140億14百万円(前年同期比134.9%)、営業利益51億21百万円(同183.3%)となり、業績は好調に推移いたしました。

九州産交グループ



主力事業であるバス事業においては排出規制の対応、安全装備を完備した新型バス車両を導入し、安心、安全で快適なバスの旅への取り組みを実施いたしました。さらにポータルサイトを開設し、バス利用の促進を図りました。また、熊本県熊本市桜町の再開発事業(2018年春竣工予定)が本格始動いたしました。

運輸事業 ホテル事業



国際チャーター専門会社のアジアアトランティックエアラインズ.は、平成25年8月に成田国際空港―バンコク・スワンナプーム空港線に初就航し、継続して同路線の運航を行い、安全運行・定時運行率の向上に努めました。

ホテル事業につきましては、各ホテルにおいて、サービス強化や喜んでいただける施策等、お客様満足や収益性向上に努めた結果、増収増益を達成いたしました。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成26年4月30日現在) (単位:百万円)			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	144,306	流動負債	87,414
現金及び預金	84,743	営業未払金	19,147
売掛金	15,691	旅行前受金	46,642
営業未収入金	6,792	その他	21,624
旅行前払金	22,307	固定負債	39,716
その他	14,771	負債合計	127,131
固定資産	79,105	純資産の部	
有形固定資産	47,078	株主資本	79,054
無形固定資産	4,618	資本金	6,882
投資その他の資産	27,408	資本剰余金	7,782
		利益剰余金	66,922
		自己株式	△2,533
		その他の包括利益累計額	4,361
繰延資産	65	少数株主持分	12,929
資産合計	223,476	純資産合計	96,345
		負債純資産合計	223,476

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年11月1日から平成26年4月30日まで) (単位:百万円)	
科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	494
現金及び現金同等物の増加額	7,191
現金及び現金同等物の期首残高	61,426
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,618

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成25年11月1日から平成26年4月30日まで) (単位:百万円)	
科目	金額
売上高	252,634
売上原価	204,447
売上総利益	48,186
販売費及び一般管理費	39,805
営業利益	8,381
営業外収益	1,470
営業外費用	210
経常利益	9,641
特別利益	-
特別損失	-
税金等調整前四半期純利益	9,641
法人税等	3,956
少数株主損益調整前四半期純利益	5,685
少数株主利益	1,325
四半期純利益	4,360

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成26年4月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	34,261,468 株
株主数	7,349 名

大株主の状況(上位10名)

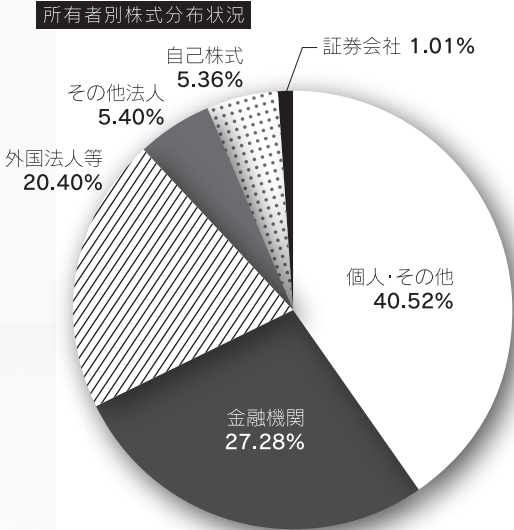
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	9,536	29.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,599	8.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,035	6.27
有限会社 秀インター	1,690	5.21
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	891	2.75
野村信託銀行株式会社(投信口)	679	2.09
シービーニューヨーク オービスエアイシーアーヴィー	675	2.08
全国共済農業協同組合連合会	569	1.75
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	518	1.59
行方 一正	510	1.57

(注)当社は自己株式(1,836,601株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	68億82百万円
従業員数(連結)	9,607名 (この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 291店舗／海外 56カ国 117都市 169拠点
ホームページ	http://www.his-j.com

株式分布状況



会社役員

代表取締役会長	澤田 秀雄
代表取締役社長	平林 朗
専務取締役	楠原 成基
常務取締役	中森 達也
取締役	高木 潔
取締役	和田 光
取締役	中谷 茂
取締役相談役	行方 一正
取締役	平田 雅彦
常勤監査役	三上 幹夫
監査役	梅田 常和
監査役	山本 克

(注)取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。
監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。